

200703 関東、中部のデータについて

7月1日の段階で、長期に渡った五反田のデータからは 6月25日千葉県東方沖 M6.2と6月28日に千葉県北東部 M4.1の2つの地震だけでは規模が小さいように見え、まだ大きな地震の可能性がある、としたところ、同日の7月1日18時過ぎに千葉県北東部 M4.5と M2.8が発生しました。これらの地震は6月25日千葉県東方沖 M6.2の余震と考えられますが いずれも規模は小さいです。(さらに本日14時過ぎに福島沖 M4.7も発生)
その後の各地のデータを見ると、今日7月3日現在、関東各地の数か所のデータは、とくに反発することなく、さらに収束が進んでいます。

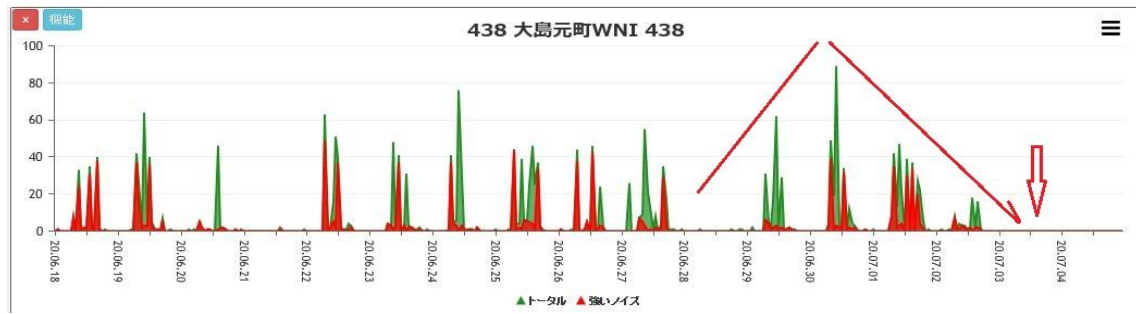
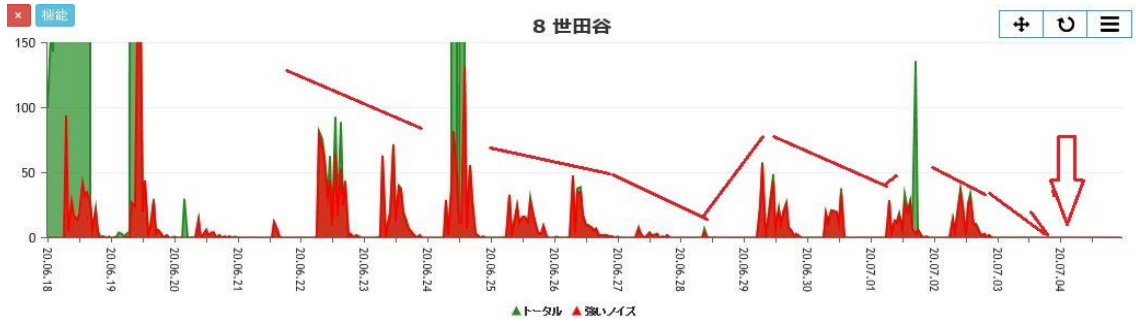
また前回書いたように5月20日ごろからの、大地震の前兆現象と言われる、多くの事象=宏観現象が見られましたが まだそれらに対応する規模の地震は発生していません。
明後日7月5日は月齢14で ほぼ満月で、いわゆる満月トリガーにかかりますが このような状況からみて もうしばらくは警戒を続けたいと思います。

参考>7月1日千葉県北東部 M4.5



各地のデータ>五反田、世田谷、練馬、大島の15日データ





中部東海地区> 安曇野、伊勢 E481 の 360 日（日毎）データ

